



栄村 議会報

発行 栄村議会
責任者 福原和人
編集 議会報編集委員会

第 179 号

内容：○森川村長 所信表明○主な可決案件○一般質問7名○平成28年度予算推移



◆森川村長 所信表明◆

6月17日に開催された第2回定例会は森川村長の初議会となりました。所信表明として 1.開かれた村政運営 2.「特命対策課」の新設 3.子ども子育て支援 4.企業支援と雇用充実 5.組織の見直し 6.村営「さかえ倶楽部スキー場」運営 7.秋山郷地域の安全安心対策及び観光 8.高齢化等に即した交通等対策 9.空き家対策及び遊休荒廃地対策の計9つを重点目標として掲げました。

4月臨時会・6月定例会 主な可決案件

案件名	内容
—4月臨時会— ◆専決処分について：平成27年度栄村一般会計補正予算第9号	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災復興交付金の減額、苗場山麓ジオパーク振興協議会負担金及び広域観光負担金の追加 補正額：518千円
◆専決処分について：平成27年度栄村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算第5号	<ul style="list-style-type: none"> 栄村診療所・栄村歯科診療所の運営経費が多額であることから、特別調整交付金の交付により、国保の事業勘定特別会計から国保の施設勘定特別会計へ繰り出すもの 補正額：13,432千円
◆平成27年度栄村貸工場建設事業栄村貸工場建設工事請負契約の締結について	<ul style="list-style-type: none"> 平滝の清水川原地籍に栄村の貸工場を建設するために去る4月15日に指名競争入札を実施し、4月18日付けで仮契約を締結したもの 契約金額：247,860千円 相手方：竹花・栄 特定建設工事共同企業体
◆栄村監査委員の選任について	<ul style="list-style-type: none"> 監査委員辞職に伴う選任 監査委員：上倉敏夫（雪坪）
—6月定例会— ◆専決処分について：栄村税条例の一部を改正する条例について	<ul style="list-style-type: none"> 地方税法の一部改正に伴う栄村税条例の一部改正：「軽自動車税」という文言を「種別割」という文言に変更、法人住民税3.7%の引き下げ、自動車の環境性能割の導入による所要の整備など
◆専決処分について：固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例について	<ul style="list-style-type: none"> 地方税法の一部改正に伴う固定資産評価委員会条例の一部改正：第10条 書記は、第7条から第9条に規定する意見陳述、口頭審議、実地調査といったもののほか、委員会の議事について調書を作成しなければならない
◆専決処分について：栄村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	<ul style="list-style-type: none"> 地方税法の一部改正に伴う栄村国民健康保険税条例の一部改正：保険税の課税限度額の見直し、低所得者にかかる保険税軽減の拡充
◆平成28年度栄村一般会計補正予算第1号	<ul style="list-style-type: none"> 特命対策課新設による臨時職員人件費及び事務機器購入費、人事異動に伴う人件費など 補正額：9,000千円

案件名	内容
◆平成28年度栄村国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算第1号	・国保保険者のシステム改修委託料など ・補正額：682千円
◆平成28年度栄村国民健康保険特別会計（施設勘定）補正予算第1号	・人事異動に伴う人件費の減額、職員被ばく検査料の追加など ・補正額：▲487千円
◆平成28年度栄村介護保険特別会計補正予算第1号	・人事異動に伴う人件費の減額など ・補正額：▲4,993千円
◆平成28年度栄村介護サービス特別会計補正予算第1号	・人事異動に伴う人件費 ・補正額：816千円
◆平成28年度栄村簡易水道特別会計補正予算第1号	・集落公民館新築による水道管移設等に係る修繕料、森地区水道施設の調査委託料、青倉集落内村道改良による水道本管布設替えなど ・補正額：6,384千円
◆平成28年度栄村生活排水処理特別会計補正予算第1号	・公用車の経費、浄化槽設置工事2基、浄化槽撤去など ・補正額：4,617千円
◆課設置条例の一部を改正する条例の制定について	・7月1日付けで栄村行政組織を改正し、新たに特命対策課を設置するため
◆議会の議決すべき事件を定める条例の制定について	・従前までは総合振興計画は議会の議決が必要とされていたが、平成23年5月の地方自治法の改正により議会の議決を得るかどうかは各自治体の判断によることとされたことから、栄村においては今後の村づくりの基本となる大変重要な計画であるとの認識から議会に諮った上で策定したいと考えている。以上のことから議会の議決に付すべき事件として総合振興計画に関する策定、変更または廃止について条例で定めるもの。また栄村定住自立圏形成協定の議決に関する条例は廃止する
◆栄村森宮野原駅前複合施設の設置及び管理に関する条例の制定について	・平成27年度から森宮野原駅前に長野県北部地震の記録の展示及び地域の活性化を図るべく各種団体等の活動拠点として整備を進めてきたが、事業が完了したことから、その設置及び管理に関する条例を制定するもの。施設の名称は「栄村森宮野原駅前複合施設」とし、管理は商工観光課が行うものとする
◆栄村予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	・第3条の予防接種健康被害調査委員のうち（1）に掲げる飯山保健所長を北信保健所長に改め、第6条中の住民課を健康支援課に改めるもの
◆栄村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	・介護保険法の改正により、地域密着型サービスに係る基準の一部を改正するもの。主な改正点は、地域密着通所介護と同じ「通所介護」という観点から、地域との連携や運営の透明性を確保するため「運営推進会議」の設置の義務付けを行い、地域との連携等に関する規定について所要の基準を定めるもの
◆栄村指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	・介護保険法改正により、利用定員が18人以下の小規模な通所介護事業所については、少人数で生活圏域に密着したサービスであることから、地域との連携や運営の透明性の確保が必要であるため、地域密着型サービスに位置付けられたことにより、基準の創設を定めるもの
◆財産の取得（除雪タイヤドーザ）について	・平滝集落内村道等の除排雪 ・取得金額：9,882千円 ・相手方：キャタピラーイーストジャパン(株) 関東支社甲信支店
◆平成27年度社会資本整備総合交付金（復興）事業村道天代坪野線橋梁架替（2）工事変更請負契約の締結について	・土合橋架替に伴う取付道路工事について、今年度の本事業に係る補助金の配分額が少ないことから新規工事発注が見込めないことによるもの ・変更事項：北野温泉施設への取付道路工事の減工 ・現行契約金額：59,205,600円 ・変更契約金額：36,309,600円（22,896,000円の減額）
◆平成27年度社会資本整備総合交付金（復興）事業村道天代坪野線橋梁架替（4）工事変更請負契約の締結について	・変更事項：取付道路に係る補強土壁工を増工するため ・現行契約金額：44,064,000円 ・変更契約金額：68,396,400円（24,332,400円の増額）



松尾眞議員

村長の施策の土台にある考えを尋ねたい。

村長 「補助金を得て事業実施」という考えで所信表明。

「人口ビジョン」について

質問

「2040年に1,400人」という人口ビジョンの策定は、

栄村全体を一括りにしているが、集落や旧校区を単位とする小地域にふさわしい方法を用いた人口分析に踏み込むべきではないか。

村長

国立社会保障・人口問題研究所の推計人口を基にした。早急に方向を変える考えは今のところない。

「栄村で仕事を創り出す」とは

質問

現に栄村で頑張っている若者からヒントを得るべきではないか。「SOUP」というアウトドア活動のNPOが頑張っている。村のホームページで大々的に取り上げるべきだ。

村長

「SOUP」と行政を直ぐに繋げての行動はできない。今

後、研究・検討する。

地方創生推進交付金について

質問

村長は「補助金が必要」と強調するが、6月17日締め切りの「地方創生推進交付金」を栄村が申請していないのは何故か。

総務課長

国の予算が急に決まっする時間がなかった。28年度予算を前倒しして、4月の臨時議会で審議をお願いした。

質問

それは「地方創生加速化交付金」だ。28年度の「地方創生推進交付金」はどうなっているか。

総務課長

栄村では「苗場山麓ジオパーク」の推進事業を津南町を代表市町村として総額300万円の申請をした。

雄川閣の改装・建替えについて

質問

村長の所信表明では振興公社についての基本方針が消える一方で、雄川閣の改装・建替えについて述べられている。これの真意は何か。

村長

振興公社は新理事の下で動いているので所信表明から消した。私は選挙中から訴えている。秋山郷が必要とする建物であれば改装なり建替えをすれば良い。



樋口武夫議員

村長の目指す栄村のビジョンとは。

村長 所信表明に基づき村政運営に取り掛かる。

新村長の目指す栄村のビジョンとは

質問

今後の村の活性化に大いに期待するところだが、村長の目指す村のビジョンをお聞かせいただきたい。

村長

補助金に頼りながら村の総合計画、または村民との公約事項、私の所信表明に基づき村政運営に取り掛かる考えを持っている。

ふるさと復興支援金事業について

質問

一集落1千万円の補助金を使って集落活性化に取り組むためのこの事業は、26年から2年間行ってきたが、6月20日をもって終了する。この2年間の実績と経緯を調査し、今後の集落維持と活性化のための新しい補助金事業対策を行う計画がないか伺う。

村長

2年間で11の集落で活用された。今後も同様な集落ごとの

特色ある復興を望む要望があれば他に変わる事業を導入し、集落の復興の後押しを村がしなければならぬと思っっている。

定住促進事業について

質問

村長の政策の中に「新規起業が促進できるよう、保証等が無くても利用できる支援制度を創設し、村内企業に対して雇用した場合の支援制度も併せて創設する」とあるが、もう少し詳しく説明いただきたい。

村長

私の公約の中、また所信表明の4つ目にも記載してある。起業支援及び雇用の充実を図る目的で新制度を創設したい。栄村の将来にあつた制度を設計したい。本年度になるか、来年度になるか、企業の意見も含めて商工観光課長に検討を指示している。

樋口議員

栄村で起業したいという人には是非支援の手を差し伸べてほしい。また若者が夢をもって取り組めるチャンスを与えてほしいと思う。そのためのきつかけとなる「地域おこし協力隊」の導入も併せてお願いしたい。





阿部伸治議員

長 村
公約の優先順位は、
情勢を判断して決め
ていく。

「太いパイプ」とはなにか

質問 村長が言い続けている「太いパイプ」とは誰と、どのような効果をもたらすのか伺う。それがどのような効果をもたらしつつあるのか。それがどのような効果をもたらすのか伺う。

村長

これを言っているのは村長だと思いが、例えば県の部長クラスと知り合いで様々な情報がどんとどんと入ってくるような関係があるのか。

質問

簡単に言うとなら、国会議員、職員、県、県議、県職員関係と繋がっている。

村長

私も補助金に関しては否定的な考えではないが、制度によっては解釈に悩むものも少なくない。そんな場合でもスムーズに事業が通るような繋がりが。

質問

「ああ言えば、こう言う」回答になるので答えられない。

村長

それでは県内77市町村あるが、そんな所そこらにはない繋がりが

を持っていると自覚されているという事で良いか。その様な自覚はない。

村長

公約に挙げた政策実現の計画について

質問

沢山の公約をされているが、優先順位はどの様に考えているか。事業には財源、人的問題も伴うと思うが整合は保てるか。

村長

公約自体多いとは思っていない。村民関係者の意見を聞いて、調整も必要であったり、補助事業導入であったりするので優先順位は決められない。情勢を判断して決めていく。

順位を決めてしまえば一番目が終わるまで次に行けなくなるので順位は決めている。また財源や人的な整合という事だが、優秀な職員により保てると思

っている。

質問

雪害対策の対象拡大でも救助員の増員が必要になる。現状ギリギリの状態と思うがどうか。また直売所に村が専門職を雇い入れるとの考えだが、自立が求められる中どの様な考えか。

村長

冬期間だけ村に住み、雇用対策として考える人もいると思う。直売所に関して最初は見よう見まねでは上手くいかない。専門家を置いて学びながら進めるべきと思う。



山本千津子議員

現・新事業問わず
成果と効果・再検
証すべきでは。

長 村
プラン・実行・確認・行動の
サイクル教育に取り組み、職
員の研修を深めていきたい。

28年度予算編成について

質問

現・新事業問わず成果と効果の考えを聞きたい。少しでも村が出資した補助金関係事業にも適切に行われているか調査しなければならぬ。補助金事業に取り掛かり易いよう区長、村民に十分な説明を行ってほしい。

村長

プラン・実行・確認・行動のサイクル教育に取り組み、職員の研修を深めていきたい。情報はホームページや広報で多く知らせる。

産業建設課長

あれば出向いていく。村の各種団体は監査委員等々の組織をもって運営していると思われるので適切に行っていると思う。国・県・村が補助金を出したものは適正な管理に努めていく。

国政問題2件について

質問

柏崎刈羽原発と村は連絡体制の覚書を締結している。簡単な書類だ。津南町のように安全協定を結ぶべきではないか。放射能事故に対する避難の仕方を考えてはいないのか。福井県の「もんじゅ」の事故の折、地元職員の現場に入り大変な事故だと分り国よりも早い対応だった。

村長

私はエネルギー関係の事は良く分からない。今後、東電と協議して計画準備は必要と思っている。

総務課長

内閣総理大臣から村に避難指示が出される。更に急な時は緊急事態宣言が発表される。覚書の中で実務担当者での連絡を設けることは可能なので、東電に内容等聞きに行ける。

質問

昨年強行採決された「安全保障法」は憲法違反だとは思われないか。

村長

衆参両院で通過したので憲法違反ではない。憲法解釈者ではないので国会の中で決めた事に意見を述べる事はない。ただ戦争は反対だと誰もが言うと思う。

山本議員

選挙は小選挙区制による。民意が反映しない。中選挙区制にすべきだ。秘密保護法も通り、国民の知らない間に事が進むのは絶対に止めていただきたい。



鈴木敏彦議員

基幹産業の農業をどのようにするのか。

長 引き続き農業生産基盤を整える。

農業に関連して

質問

農家戸数、就農人口も減ってきている。国の農業政策は、

小規模、家族農業を切り捨て、輸入を増やし、資本のある金持ちに経営を移す方向に進んでいると私は思う。この間、米価下落を補填する交付金の廃止、農業所得補償の減額などの中で、家族農業者への支援制度は見当たらない。TPP が承認されれば大きな打撃は必至だ。今後の農業政策、家族農業への支援（例えば、村全体を「みなし営農」として、家族・一人農業者への支援は考えられないか）は、また TPP についての村長の考え方はどのようなものか。

村長

農業は命を育む産業だと思っている。引き続き農業生産基盤を整えながら、高付加価値農業の推進、若者や女性などが活躍できる農業の確立を目指したい。家族農業は栄村では必要だと思っている。個人的な補

助については村単独の事業としてできるのであれば担当部署の方で検討させてもらいたい。TPP については、政府が国民の不安解消に向けて丁寧な説明をし、地域の実情を聞いてもらいたい。

復旧・復興関係について

質問

今日、全国各地で地震発生のが報道が繰り返されている。栄

村の復旧・復興の現状、村民の暮らし向き、復興を加速させるといふ特命対策課について伺う。

村長

一集落の水道、用水路一本が復旧していないが、復興計画の事業は計画通り進んでいると捉えている。特命は事業を専門的に研究、検討、企画する部署で、事業実施はせず、企画立案まで。

青倉地区へ沈砂池の設置を

質問

日常生活の上で「タネ」は大切だ。泥上げしても半年でいっぱいになってしまう。復旧は水の取り入れ口を直せば良いというものではないと思うが。

村長

地元の要求があれば担当部署の方で検討しても良いと考えている。



石沢一男議員

森簡易水道はいつになったら「安心して飲む水」になるのか。

長 今後は使用関係者の皆さんと一緒に早期解決を考えていきたい。

森簡易水道の早期復旧について

質問

森地区の水道はまともに飲めない状態が続いているわけだが、そのために水を買って飲んでいたりする方もいる。最近では「マンガン」も検出されたとのことだが、基準値以下であるとはいえ、人体に蓄積されることよって健康被害にもなりかねない。森簡易水道はいつになったら「安心して飲む水」になるのか。早期の解決と水道料の減免措置の考えは。

村長

震災当時、井戸を掘るといふことで向かってきた流れは私の頭の中に残っている。そしてこの度、村長選の出馬に際して森地区の水道災害が未だ問題が生じていることを聞かされ驚きもしたが、掘削した井戸水検査数値については飲料水として基準値

以内という事も村から聞かせてもらった。しかし朝一番の着色汚れなどは使用関係者から苦情がきて当然だと思う。私が選挙当時、事務所を借りていたのが森だが、やはり朝一番は赤っぽい土の混じった水が出た。今後は森、中条地区の皆さん、また工場生産をやっている皆さんへ状況が伝わり易い、そういう流れと、使用関係者の皆さんと一緒になって早期解決を考えていきたい。水は生命の源なので、土や異物の混入などがあつたら何が入っているか研究しなければならぬので早急に役場の担当に連絡してほしい。

産業建設課長

現在、震災前の水から現行の配水池を使うという二つを大前提として作業を進めている。地元との意思疎通、連絡を密にとるために「森水道研究委員会」を立ち上げた。28年度で設計ができれば早期発注したいが、ただ現場が現場なもので、降雪の状況により4月中に入札できればと思う。導水管の管路工事が完了次第、既設の配水管に付着している「マンガン」の清掃にも入りたい。それを29年度、遅くとも降雪前までには終わらせたいという事業スケジュールを組んで進んでいる状況である。



上倉敏夫議員

直営の通所介護事業・デイサービスを社会福祉協議会に移管するのか。

村長 ショートステイの再開、リハビリ指導の充実など、早ければ来年度から、遅くも平成30年度から実施したい。

介護事業について

質問

①直営の通所介護事業・デイサービスを社会福祉協議会に移管する実現の可能性は。②特別養護老人ホーム「フランセーズ悠さかえ」では、慢性的に職員が不足していると聞いている。この施設は入所者の3分の1が村民であり、更に入所を希望する待機者は20名余りいると聞いている。村として従前の支援に加え、職員の確保に向けて新たな支援策はないか。③また来年度、7期の介護保険料の改定作業が始まるが、その事について何かあったら一言お願いしたい。

村長

①ショートステイの再開、リハビリ指導の充実など、早ければ来年度から、遅くも平成30年から

実施したい。②先日、博悠会の荒木理事長が来村し、関係者と会議を持った。荒木理事長の方からは色々要望もあったが、今後は懇談会を持ちながら「できる範囲で応援したい」と回答した。③保険料の改定については全協で報告するので検討してもらいたい。

県営中山間地域総合整備事業「栄地区」について

質問

計画どおり進むと期待していると「予算が付かないから」と毎年先送りされている。期待も大きいだけに焦燥感も大きい。今後の対応策は。

村長

平成29年度の予算確保に向けて、直接国に要望する手続きを県と進めている。

保育料の軽減について

質問

保育料の無料化もありますが、まず「保育料の軽減」と「保育の質の向上」を求めている保護者が多数いると聞いている。その対策は。

村長

保育の質の向上については検討していく。

住民福祉課長

保育料については本年度から軽減する方向で検討していく。



◆平成27年度 栄村予算推移◆

単位：千円

区分	当初予算	6月補正	現在の予算額	増減額	増減率 (%)
一般会計	3,885,000	9,000	3,894,000	9,000	100.23
特別会計					
国民健康保険(事業勘定)	308,209	682	308,891	682	100.22
国民健康保険(施設勘定)	134,341	▲ 487	133,854	▲ 487	99.64
秋山診療所	6,333		6,333	0	100.00
後期高齢者医療	31,129		31,129	0	100.00
介護保険	384,563	▲ 4,993	379,570	▲ 4,993	98.70
介護サービス	70,045	816	70,861	816	101.16
簡易水道	62,155	6,384	68,539	6,384	110.27
生活排水	67,474	4,617	72,091	4,617	106.84
農業集落排水	20,393		20,393	0	100.00
スキー場	118,788		118,788	0	100.00
ケーブルテレビ	36,797		36,797	0	100.00
合計	1,240,227		1,247,246	7,019	100.57

※▲は、減額